

定期報告(ウルグアイ政務・経済:2022年3月)

【ポイント】

内政

●3月27日、緊急検討法(la Ley de Urgente Consideracion:LUC)の条文の一部廃止の可否を問う国民投票が実施され、与党側の勝利(条文を廃止しないこと)が確定した。

外交

●15日、Gideon Saar イスラエル副首相兼法務大臣が当国を訪問、ブスティージョ外相と会談を実施した。

●当国外務省は、ブスティージョ外相及び当地駐在各国外交団との間でウクライナ侵攻にかかる会議を開催。今般の会議で全参加者は、現在進行中のロシアによるウクライナ侵攻への非難及び、国際法を尊重しつつ最終的に平和を構築する解決策を見つけ出すことの必要性について意見を共有した。

●農牧水産省は、林業分野における中・ウルグアイ二国間の技術協力進展のため、中国との対話機会の設立を発表した。

経済

●30日、ラカジェ・ポウ大統領は、生活基盤品目に関する価格変更を発表した。4月1日から、燃料価格は、ガソリンが1リットルあたり3ペソ増(4%増)、ディーゼルは1リットルあたり5ペソ増(9.2%増)、スーパーガスは1キロあたり3ペソ増(5%増)となる。

●アルベレチェ経済財務大臣が、ドバイで開催中の世界政府サミット(World Government Summit:WGS)において最優秀大臣賞を受賞。

【本文】

1 内政

(1)牛リブ肉の付加価値税免除及び連帯賃金の延長に関する法案の承認

3月22日、当国議会は、牛リブ肉(Asado de tira)の付加価値税を1ヶ月間0%にする法案と連帯日雇い労働プロジェクトを延長する法案を承認した。牛肉が国民食である当国国民にとって、牛肉の国際価格高騰及びウルグアイ国内の牛肉の価格高騰に加え、ロシアによるウクライナ侵攻の影響で経済的打撃を受けていることから、消費者を守るために国が果たすべき措置として、牛リブ肉の期限付きの付加価値税免除が承認された。

(2)緊急検討法にかかる国民投票の実施

3月27日、緊急検討法(la Ley de Urgente Consideracion:LUC)の条文の一部廃止の可否を問う国民投票が実施され、与党側の勝利が確定した。同国民投票の最終結果は以下のとおり。

ア 有権者数:2, 684, 131名

イ 投票総数:2, 298, 937名

ウ LUC 賛成派(与党側):1, 108, 360票

エ LUC 反対派(野党側):1, 078, 425票

オ 無記入(LUC 賛成表にカウントされる.):29, 121票

カ 無効票:82, 461票

キ 「確認を要する票」のうち、正当性が確認されなかったもの:570票

2 外交

(1)Gideon Saar イスラエル副首相兼法務大臣の訪問

15日、Gideon Saar イスラエル副首相兼法務大臣は、当国を公式訪問し、ブスティージョ外相と会談を実施した。両者は、地域及び多国間の主要関心事項及び、二国間アジェンダを確認した。また、両者は、良好な二国間関係を評価し、政治、経済、貿易、協力及び文化における関係を発展・多様化させるために必要な行動を推進することに合意した。

(2)ウクライナ侵攻にかかる会議

18日、当国外務省は、ブスティージョ外相及び当地駐在各国外交団との間でウクライナ侵攻にかかる会議を開催した。ブスティージョ外相は、スペイン、イタリア、ポルトガル、ルーマニア、カナダ、スイス、EU、フランス及びギリシアの各国大使並びに、ハンガリー、英国、ドイツ、米国、日本及び韓国の各国代表を迎え入れ、会議を行った。今般の会議で全参加者は、現在進行中のロシアによるウクライナ侵攻への非難及び、国際法を尊重しつつ最終的に平和を構築する解決策を見つけ出すことの必要性について意見を共有した。

(3)アルゼンチンが建設予定の原子力発電所に関する情報提供を要請する書簡

本年2月、ブスティージョ外相がカフェイロ亜外相宛に、アルゼンチンが中国の協力を得て建設予定の原子力発電所に関する情報提供を要請する書簡を発出していた旨報じられた。アルゼンチンとウルグアイは原子力安全条約の締約国であるが、同条約第17条には、「計画されている原子力施設がその近隣にある締約国の領域に影響を及ぼすおそれのある限りにおいて、当該締約国が自国領域への安全上の影響を独自に評価することを可能とするため、当該締約国に対して必要な情報が提供されること。」と規定されている。外務省関係者の話によれば、今回の情報提供要請は、(ウルグアイ政府による)不安の表明ではなく、「通常の手続き」であるとのことである。

(4)ロシアによるウクライナ侵攻に関する OAS 決議

OAS 常任理事会は、25日に会合を開き、ロシアによるウクライナ侵攻に関する決議を承認した。アブダラ OAS 本部ウルグアイ代表は、「我々は国際社会の一員であり、(今般の決議は)非常に重要である。我々は紛争解決を支持し、28カ国が人道を尊重する立場で連携・団結していると声を上げなければならない。」と発言した。

(5)農牧水産省による中国との対話の設立

農牧水産省は、林業分野における中ウルグアイ二国間の技術協力進展のため、中国との対話機会の設立を発表した。同対話機会の設立により、ビデオ会議が実施され、協力内容について協

議が行われた。中国は、ウルグアイの林業生産における主要輸出相手国の一つであり、これまでに丸太、製材及びセルロースを輸出している。

3 経済

(1) 燃料価格の変更及び生活基盤品目の付加価値税引下げ

30日、ラカジェ・ポウ大統領は、生活基盤品目に関する価格変更を発表した。4月1日から、燃料価格は、ガソリンが1リットルあたり3ペソ増(4%増)、ディーゼルは1リットルあたり5ペソ増(9.2%増)、スーパーガスは1キロあたり3ペソ増(5%増)となる。

(2) ウクライナ紛争による乳製品輸出業者への影響

ウクライナ紛争は、乳製品輸出業者、特にバター輸出に対して直接的な打撃を及ぼしかねないと言われる。同セクターのウルグアイからの輸出の半分以上が、ユーラシア大陸向けであり、一般の紛争による制裁措置を理由に、すでに運搬されているコンテナに対してどのような請求が可能であるか不明となっている。

(3) アルベレチェ経済財務大臣の最優秀大臣賞受賞

世界政府サミット機構(World Government Summit Organization:WGSO)は、ドバイで開催された年次総会にてアルベレチェ経済財務大臣に対し、公共部門への優れた実績及び国際的なリーダーシップを認め、最優秀グローバル大臣賞を授与した。

(4) ラカジェ・ポウ大統領及び Binance 社 CEO の会談

ラカジェ・ポウ大統領は、仮想通貨取引企業 Binance 社の CEO である Changpeng Zhao 社長との会談を行った。同社長は自身のツイッターアカウントを通じてラカジェ・ポウ大統領との写真を掲載しつつ、高レベルのブロックチェーン(注:「ブロックチェーン」は仮想通貨「ビットコイン」の基幹技術として発明された概念。)、経済及びその他の議題について協議した旨ツイートした。同社はモンテビデオでのオフィス開設のための責任者を探している。

(5) 2021年第4四半期 GDP

2021年第4四半期の GDP は、対前年同期比5.9%増となり、経済活動の回復が確認された。また、当国中銀の発表によると、2021年の年間成長率は4.4%となった。

4 要人往来

(1) 往訪

- ・3月10日～11日:ラカジェ・ポウ大統領及びブスティージョ外相のチリ訪問(ボリッチ・チリ大統領就任式及びピニエラ前大統領送別会出席。)
- ・3月21日～26日:ペニャ環境大臣のセネガル訪問(水フォーラムへの参加。)
- ・3月28日:アルベレチェ経済財務大臣の UAE 訪問(世界政府サミットへの参加。)
- ・3月30日～4月2日:ペニャ環境大臣のエクアドル訪問(FAO 第37回中南米・カリブ地域会議への出席。)

(2) 来訪

特記事項無し。